トラストグループのご紹介





全国管理店舗数712ヶ所、管理台数30,996台(2017年9月 末現在)市営公共駐車場の指定管理や、施設駐車場の運営 管理を行っております。



弊社グループ(トラストホールディングス株式会社)は、企業理念にある<u>『地域社会の幸福に貢献する』ため、</u> <u>『医』・『食』・『住』の環境を整備し、生き生きとした</u> 生活を送ることができる地域社会を目指して事業を展開しております。





キャンピングカー販売を通じて、新たなライフスタイルをサポートし、地域の活性化にも繋げます。2016年4月よりレンタルサービスを開始しました。







GPS・ETC・RFID など

渋滞や環境、健康のことを考え、目的地へ行くための最適な駐車場を

ナビゲーションする仕組み。円滑・スピーディー・お得に駐車場を利

新しい駐車場の形「スマートパーキング」その仕組みとは?

用できる仕組み。

デジタルサイネージ・Wifi・ICカード・NFC・DSRC など

ゲート

Car Society Platform

精算機メーカー・駐車場運営会社

車、駐車場、街をいたるところでつなぐ地域情報サービス基盤。さま ざまな業種と連携し新しいパーキングビジネスの創出が可能となる。

Car Society Platformとは?

AR・QRコード・Felica・ワンセグ など

All Rights Reserved, Copyright TRUST PARK Inc. 2018

0000000000000

駐車場~人間社会の取り組み(事例:佐世保商店街の賑わいづくり)

わたしたちは「安心・安全・快適な駐車場サービス」を通じて、街の課題を街に「価値」に変える取り組みとして、 ICTコンテンツの開発から、市街地の賑わいづくりに向けた様々なイベントの企画・分析・実行支援を行っています。

安心・安全・快適駐車場管理・運営



会員カードサービス



全国:750店舗 31,621台

個人会員:35万人 法人会員:5500社

佐世保の駐車場・お店情報 サイト運営



掲載店数 : 350店舗以上 クチコミ件数: 20,000件以上

コンテンツ開発・運営



まちなかポータルサイト GPSスタンプラリー機能

まち元気向上委員会の主催

長崎国際・県立大学の履修 (地域連携活動)



イベントPDCA



総務省「IoTサービス創出支援事業」 シェアリングエコノミー型九州周遊観光サービスモデル事業

新しい旅のカタチ「車泊(くるまはく)」



九州周遊観光活性化コンソーシアム

トラストパーク株式会社/熊本県阿蘇市・南阿蘇村・和水町・五木村・錦町役場/長崎県島原市・川棚町/特定非営利活動法人価値創造プラットフォーム/九電テクノシステムズ株式会社/株式会社イー・フォレスト/軒先株式会社/株式会社ガイアックス/株式会社notteco/株式会社RVトラスト/株式会社よかネット/長崎国際大学国際観光学科尾場研究室/くるま旅クラブ株式会社/一般社団法人日本RV協会/九州・沖縄「道の駅」連絡会事務局



政府のシェアリングエコノミー推進



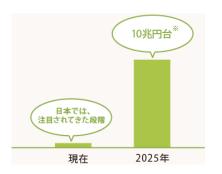


お知らせ

2016.06.07

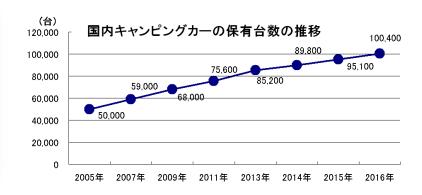
閣議決定の「日本再興戦略2016」 具体的施策に"シェアリングエコノミー推進"

政府は6月2日、新成長戦略「日本再興戦略2016」を閣議決定し、その具体的 施策のなかで「シェアリングエコノミーの推進」を掲げました...



キャンピングカー、グランピング施設の増加







熊本地震での車中泊避難者対策











新しい旅のカタチ「車泊(くるまはく)」事業の戦略



ブランド化利用促進

地域滞在消費の 促進 周遊観光ルート 開発

ー極集中する都市から地方へ送客する コンテンツとその仕組みを創り地域経済を活性化する

家族との思い出づくり



自然から学ぶ



ペットと車旅



移住地探し



[TV]

- ·KBC朝日放送
- ·TVQ九州放送
- ・熊本県民テレビ
- ・熊本朝日放送
- 熊本放送
- ・テレビ長崎
- ・長崎文化放送
- ・長崎国際放送 など

【新聞】

【ラジオ】

・熊本日日新聞

・熊本シティエフエム

- ・人吉新聞
- ・長崎新聞

【雑誌】

- ・リビング福岡
- ・オートキャンパー
- ・カーネル
- ・ランドネ
- ・九州ウォーカー
- ・長崎プレス
- ・ふくおか経済 など

【ネット】

- JAF
- ·Yahoo!ニュース
- ・朝日新聞
- ・西日本新聞
- ・熊本県 SNS
- ・長崎県 SNS など他多数

雑誌掲載例











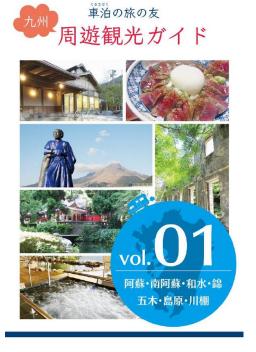
Facebook

キャンペーン等の広告

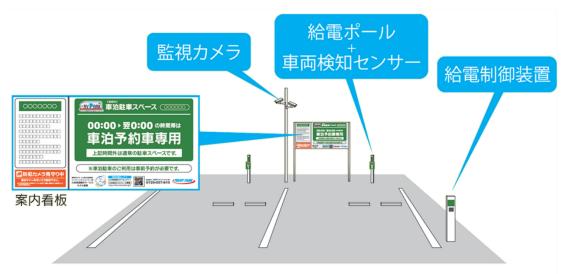


周遊観光ガイドブック

車泊スペース設置地域の観光名所の紹介









車泊スペースのイメージ





南阿蘇村(道の駅 あそ望の郷くぎの)

(道の駅あそ望の郷くぎの)

この設備は利用者の善良なるマナーによって運営されています。他のご利用者の 迷惑になる行為はお控え下さい。ご利用の際には、以下の点に注意して下さい。

車泊(くるまはく)マナー









風紀を乱すような行為は



指定された場所以外への 車両乗り入れや



用便はトイレを



食べ物や飲み物類の残りを 土に埋めたり撒いたりせずに



樹木や草花等を





お持ち帰り下さい



施設内での事故、お客様同士 のトラブル等については

RVパーク smart

くるまはく

車泊駐車スペース(道の駅あそ望の郷くぎの

16:00 > 翌9:00 の時間帯は 車泊予約車專用

上記時間外は通常の駐車スペースです。



- ●就寝時はドアは必ずロックしてください ●貴重品を車内に放置しないでください
- ●プライベートを守るために、窓に目隠しをしてください

防犯カメラ見守り中

車泊マナーを守ってご利用下さい。

※不正利用を発見した場合はナンバーを控え、警察に通報の上、罰則金として 金5万円を頂きます。

総務省「IoTサービス創出支援事業」 シェアリングエコノミー型 九州周遊観光サービス モデル事業



車泊予約はコチラ

九州周遊観光ポータルサイト 九州周遊観光ポータルサイト 検索

http://kurumahaku.jp/



緊急連絡先: 【 】 トラストバトロール(株) 0120-557-810



パソコン



スマホ



駐車場シェアリングサービス(ICT)を活用して観光課題を解決

(イベントや行楽シーズン時の駐車場不足・違法駐車解消にむけて)

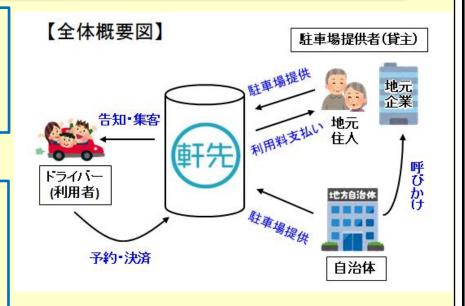
【自治体におけるイベント時期の課題】

- ・県内、市内観光客の一時的な増加
- ・期間中の慢性的な駐車場不足(時間貸し駐車場は駅前のみetc)
- ・一方で空き地など未使用地が多く、需給ミスマッチが起こっている
- ・駐車場が無いため、やむなく違法駐車する(利用者)



駐車場シェアリングサービス(ICT)を導入!

- ・導入コストゼロ、ランニングコストゼロ
- ・コインパーキングなど増設初期コストの抑制(平均300万円)
- ・個人宅の遊休ガレージや法人の従業員用駐車場の未使用日(土日祭日)の有効活用
- ・予約制のため、駐車場を探し回ることなく、環境にも配慮



地域の駐車場不足を解消し、渋滞・不正駐車軽減に寄与。観光課題を解決。





高尾山紅葉シーズンに向けた取組。八王子市の施策に協力し首都大学東京観光科学域・地元町会で実施。75台分を予約制にし駐車場探しによる減速運転渋滞を緩和(東京都八王子市)



毎年30万人が訪れるしだれ桜 花見シーズンに向けた取組。地 元企業の協力もあり、182台分 の駐車場確保し、駐車場不足に 対応。 (福島県喜多方市)



シェアリングシティ宣言都市島原市の花火大会。大会用に38台の駐車場確保。近隣に時間貸駐車場がないため、来場者の利便性向上に貢献。(長崎県島原市)



地元NPO法人運営の花火大会。 地元企業よりスペースの無償提供あり。売上は運営費へ。 計260台分の駐車場確保。 (NPO法人、札幌市)



アビスパ福岡ホームスタジアム 市営臨時駐車場へ予約制を 実験的に導入。650台分を予 約制にすることで入庫時の周 辺道路混雑軽減に貢献。 (Jリーグ、福岡市)

実証期間中の試み(地域体験コンテンツ)

地域体験を観光資源・商品として整備。観光コンテンツの構築・プロモーションを実施し、

車泊利用者に提供する仕組みを構築した(地域体験シェアサービス: TABICA利用)。

川棚町(3)

本当に美味しいごはんとは?

透き通る水と棚田米を堪能体験!



無人島周遊体験!シーカヤックアド

シーカヤックアドベンチャー



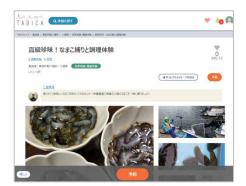
和水町(1)

世界にひとつだけ!

オリジナルマイボードづくり



高級珍味!なまご捕りと調理体験



錦町(2)

初心者大歓迎!陶祥窯の陶芸体験



「礼に始まり、礼に終わる」。

古流剣術「兵法タイ捨流」体験





実証期間中の試み(車泊×○○セットプラン)

11月

車泊×温浴施設



12月

車泊×グルメ (年越しそば、おせち料理)



1月

車泊×キャンピングカー





2月

車泊×イベント時の 市内駐車場



実証期間中の試み(車泊×○○セットプラン)

※ 画像はイメージです ご好評により期間延長!! ご好評より 6月30日迄 期間延長



- キャンプなどと違い荷物も少なく気軽にアウトドアの旅行気分が味わえる。
- 既存RVパークと違い、到着時間を気にせず電気が利用ができる。
- 二ヶ所の温泉は最高でした。ゆっくりと散歩できる環境、景観のよさ、ハウステンボスまで の距離が近いこと、静かなこと。電気が使用出来ること。今回は不便を感じなかった。
- 風呂、トイレが利用できるのと、料金を支払うことで安心して車中泊できること、出入り自由な事が便利でした。
- 間も無く23年になります<u>あの大震災で家が半壊して、相方の実家鹿児島に神戸から移り住んでますが、以来屋外での炊飯調理や防災訓練と称して家族でキャンプをしてきましたが、当時10歳だった娘も一昨年より神戸で一人暮らしを始めて、還暦過ぎた我が夫</u>婦は車中泊の旅を楽しむようになりました。
 - 一昨年の熊本地震の時に現地で本震を体験するもその後数日滞在しておりましたが、 早くこのようなシステムと設備ができればと思っておりました。



熊本県阿蘇市・南阿蘇村・和水町(なごみまち)・錦町・五木村、長崎県島原市・川棚町(かわたなちょう)における取組(取組主体:トラストパーク株式会社)

阿蘇の「道の駅」や島原城など7地域の不稼働時間帯の駐車場等に給電機器と連携したシェアサービスを導入し、車中泊を有償化するルール整備と地域滞在消費を促進する取組

導入前の状況(課題)

- ①車中泊問題(阿蘇市/南阿蘇村/和水町/錦町/五木村)
- ・近年、キャンピングカー等の 車中泊が増え、宿泊を認め られていない場所が利用され ており、夜間の火気利用、ゴ ミの投棄などのルール違反者 や苦情が増えてきている。
- ・2016年4月の熊本地震の影響 で観光客が減少し、被災者からは一時避難生活場所として 電源供給できる設備が求められている。
- ②観光資源不足(和水町/錦町/五木村/島原市/川棚町)
- ・地域に宿泊施設が少ない。体験観光の素材は豊富だが、観光商品として整備されていないものが多く、観光客に認知されずに通過されている。

課題に対する取組

- ・総務省「IoTサービス創出支援 事業」を活用し、以下の取組 について実証実験を実施 (2017年11月~2018年1月)
- ・車中泊と地域体験の予約登録 を円滑に行うことが可能な**九** 州周遊観光ポータルサイトを 構築
- ・シェアサービス「軒先パーキング」と100V給電機器を連携した「休憩駐車管理システム」を開発し各地に導入。防犯カメラや人感センサー、車中泊マナー等を掲示した看板



・これまで観光客に提供されていなかった地域独自の体験観光素材を磨き上げ、観光商品としてシェアサービス「TABICA」に掲載。車中泊滞在による地域体験の利用を促進

導入後の状況(取組の効果)

- ・2017年11月1日より九州周 遊観光ポータルサイトを公開 し車中泊・地域体験サービス を案内
- ・九州全ての道の駅や実証地の 隠れた観光スポット等を<u>周遊</u> 観光ポイントとして登録・紹 介し、GPSスタンプラリー を実施 (箇所数:504箇所)
- ・これにより、1観光客グルー プあたりの立ち寄り箇所数 (8.12箇所)や車中泊利用者の 滞在時間(15時間8分)、また アンケートにより滞在消費(一人平均7,802円)に関する データを取得
- ・GPSスタンプデータから周遊 観光ルート(東九州・西九 州・南回遊ルートの3本)を 可視化し、新たな観光コース 開発など観光施策に活用でき るデータを獲得
- ・車中泊利用は7地域合計123 件。車中泊ルール違反・苦情 数0件。アンケートによる利 用者満足度80%

34,

熊本県阿蘇市・南阿蘇村・和水町(なごみまち)・錦町・五木村、長崎県島原市・川棚町(かわたなちょう)における取組(取組主体:トラストパーク株式会社)

取組のポイント

(1) サービスの認知度向上のための取組

- 九州周遊観光サービスモデル事業では、災害時の避難の手段としても使われる「車中泊」ではなく、シェアリングエコノミーを活用した新しい旅のカタチ「車泊(くるまはく)」と呼称し、観光拠点に設置した100V電源を使用する滞在観光スタイル動画を作成しHP・SNS
 等で告知、熊本県・長崎県、地域メディア等の協力を得て広報。有料広告は主にFacebookを使用。各地の周遊観光ガイドブックも作成(2)サービスの提供者・利用者の掘り起しのための取組
- 車泊サービスは「温浴施設や居酒屋等との提携」「アウトドア用品·家電品のレンタル」「車泊×キャンピングカーや車泊×地域イベント」等のセットプランの企画・造成。自治体や地域イベント、地元企業等と連携し利用促進に取組んだ。
- (3) スマートフォンなどを使うことができない利用者向けの取組
- 車泊サービスは電話受付にも対応した。
- (4) (民間事業者のサービスを利用した場合)公平性の確保のための取組 特になし
- (5) サービスの安全・安心を確保するための取組
- 車泊スペースに防犯カメラと車泊マナーや防犯対策等を明示した看板を設置。予約時及び現地での問合せに対応する365日受付窓口を 設置。予約者のみ閲覧できるページに車泊スペースの利用方法やマナー注意事項(ゴミ捨て場など)の説明を写真付きで掲示
- 地域体験サービスのTABICAはシェアリングエコノミー協会の認証を得たサービスとして事故等の補償(TABICAケア)に対応
- (6) 法律や条例との整合性を確保するための取組
- 今回の車泊実証は道の駅と観光・温浴施設で実施。道の駅の駐車場は国交省より交通事故防止のため休憩(仮眠)は可能という見解が示されているが宿泊場所ではない。観光・温浴施設には夜間駐車を規制している施設や規制がない施設があり、条例・規則にも「車中泊可能な場所」としては明記されていないため利用料が徴収されていない。今回実証した直営施設については、自治法に基づき車中泊使用料の徴収条例を定め、災害時における利用については条例に減免規定を設け、地域防災計画への組み込みに向けた準備を行っている。指定管理施設は、指定管理者の自主事業として条例化せず車中泊使用料は変動料金にて運営中
- (7)補完・連携した既存の公共サービスの内容 特になし
- (8) 広域連携のための取組
- ・ 7自治体やシェア事業者などが参加する「九州周遊観光活性化コンソーシアム」を組成
- (9) その他 特になし

残された課題、継続取組事項

• 九州周遊観光サービスモデル事業の実証期間が冬季シーズンとなったため観光やアウトドア体験等を目的とした需要の掘り起こしに苦労したが、今後は行楽シーズンに向けた料金設定及び、車泊と地域体験を絡めた新プラン等を作成し、滞在観光の利用促進(周遊・滞在データの収集分析)を継続する。今回は**直営施設の車泊徴収額を条例で固定額としたが、曜日・シーズン、地域のイベント期間など、料金の変更を柔軟に行うことができれば売上の機会損が無くなり、シェアリングエコノミー事業のポテンシャルを活かすことができるため変動性料金として条例化をできないかルール・事例を再調査する。**

事業概要(総務省成果発表資料)



提案者

トラストパーク株式会社、NPO法人価値創造プラットフォーム、軒先株式会社、九電テクノシステムズ株式会社、 (熊本県)阿蘇市・南阿蘇村・和水町・錦町・五木村、(長崎県)島原市・川棚町

対象分野

シェアリングエコノミー

実施地域

熊本県:阿蘇市(はな阿蘇美)・南阿蘇村(道の駅あそ望の郷くぎの)・和水町(道の駅きくすい)・錦町(道の駅 錦)・五木村(道の駅子守唄の里 五木)、 長崎県:島原市(島原城)、川棚町(くじゃく荘) 【計:7地域】

事業概要

道の駅や観光施設等の駐車スペース等に周遊観光客が安心・安全に車中泊ができる電源提供型の休憩駐車管理システムを7地域に導入し、そこを起点に地域観光やアクティビティー等のコンテンツを連携させると共に、スマートフォン・車両検知センサーにより、周遊・滞在データを収集・分析し、熊本地震被災地の復興事業や各地の観光振興施策への反映を図るリファレンスモデルである。シェアサービスは車泊体験サービス(アウトドア用品等のレンタル含む)と地域体験サービスを導入した。当駐車スペースは自然災害時の一時避難生活場所としても活用する。

主なルール整備等

▶ 車泊サービス導入におけるルール整備(有償利用、運用管理)

問題点

問題解決への取組(実証事業の概要)

地域の発信力不足

都道府県・市町村を跨いだ広域 での立ち寄り箇所や、観光ルートの情報が発信されているケー スが少ない

車中泊問題

宿泊を認められていない場所が 利用されており、夜間の火気利 用、ゴミの投棄等のルール違反 者や苦情が増えてきている

観光資源不足

体験観光の素材は豊富だが、 観光商品として整備されていないものが多く、観光客に認知されず通過されている



サービス利用者 (周遊観光客) スマホ、PC、電話で予約・決済

予約・決済

シェアリングエコノミー型 **九州周遊観光サービス プラットフォーム** 予約・サービス・コンテンツ管理者

サービス提供





得られた成果(KPI)

地域情報コンテンツ構築

平均観光立ち寄り箇所数8.12 新たな観光ルート3本発掘 利用者満足度80%の達成

車泊サービス導入

電源提供型の休憩駐車管理システムを7施設(14車室)導入ルール違反・苦情件数 0件

観光コンテンツ構築

新たな地域体験観光コンテンツ を3地域6プログラム構築

1. 地域情報の発信力不足

都道府県・市町村を跨いだ広域発信が行われるケースが少ない。



2. 道の駅等の施設利用に関する車中泊問題

近年、キャンピングカー等の車中泊が増え、道の駅等での 火気使用やゴミ投棄等、施設ルールを守らない人が増えている。 [違反・苦情件数サンプル:南阿蘇村の道の駅 2017年 20件]

災害時は一時避難生活場所として電源設備が求められている。





3. 地域性を生かした観光資源の不足

・農業体験やものづくり等の体験素材や提供可能な人はいるが 観光商品として整備できていない。

[体験型観光商品 = O件(熊本県和水町·錦町、長崎県川棚町)]

宿泊施設や公共交通がなく、通過型観光地となっている。



社会実装が必要と考える解決策

● 周遊観光客の周遊・滞在データに 基づく最適な観光ルートの開発

周遊観光客への安心・安全・快適な 車泊サービス及び地域体験サービス の提供

実証事業で試行した解決策

スマートフォン・車両検知 センサーによる周遊・滞在 データの収集分析





休憩駐車管理システム、 シェアサービスの導入







(熊本・長崎の7地域に導入)

地域体験シェアサービスの導入







(熊本・長崎の3地域・体験6コンテンツ導入)

苦労した点(課題)

シェアリングエコノミーの概念やサービス、車泊という新しい観光旅行スタイルの浸透と需要の掘り起こし



対応ポイント

メディア活用。パブ広告。熊本・長崎県、自 治体・観光団体等のSNS告知。くるまはく 動画の制作、Facebookや福岡市天神の大 型ビジョン等公開中。

車泊サービスにおける予約管理、料金 徴収・支払いルール、レンタル品管理 等の運営ノウハウ不足



車泊料金徴収額、売上金の支払フロー等を協議。予約管理、夜間施設出入り、ゴミ捨て場所、レンタル品返却場所等の運用ルールを文書化し運用中。

実証地域が7地域と広域にわたるため、 コンソーシアム構成員間の均質・緊密 なコミュニケーションと情報共有



キックオフ説明会にて目的・計画等を共有。 不参加団体にはビデオにて共有。メーリン グリストとFaceBook非公開グループを活 用し、外部からも現地写真や動画、現地課 題や作業プロセス、完成イメージを共有。

当サービスモデル事業の普及展開に向けて、自治体への情報共有・展開方法



同じ地域課題・ニーズを持つ自治体を区分化しメールにてプロジェクト進捗等を適時 共有。見学会・説明会の実施。シェアエコ 活用事例の共有。各県への事例紹介依頼。 シェアエコ活用セミナー開催など。



シェアリングエコノミー型 九州周遊観光サービスモデル事業

車泊体験(駐車スペースシェア) × 地域体験(スキルシェア) ◆



共有(シェア)・有償化

不稼動スペース・地域住民スキル

アウトドア用品・ 家電品等

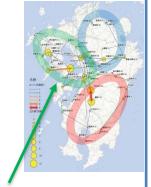


2017年11月1日~九州周遊観光ポータルサイトにて車中泊・地域体験サービスを公開。九州全ての道の駅や実証地の隠れた観光スポット等を周遊観光ポイントとして登録・紹介し、GPSスタンプラリーを実施。

	[実証デー?	タ: 2017/11/1-1/31]_
車中泊利用者	123件	(7地域合計)
車中泊ルール違反・苦情数	0件	(南阿蘇村)
地域体験利用者	1件	(3地域合計)
利用者満足度	80%	(アンケートデータ)

GPSスタンプ獲得者	62名	(ロク・インテ・ータ)
立ち寄り箇所数	504箇所	(スマホテ゛ータ)
1観光客グループの立寄箇所数	8.12箇所	(スマホテ゛ータ)
車中泊利用者の滞在時間	15時08分	(センサーデータ)
滞在消費(一人平均)	7,802円	(アンケートデータ)

GPSスタンプデータから周遊観光 ルート(東九州・西九州・南回遊 ルートの3本)を可視化し、新たな 観光コース開発など観光施策に 活用できるデータを獲得。



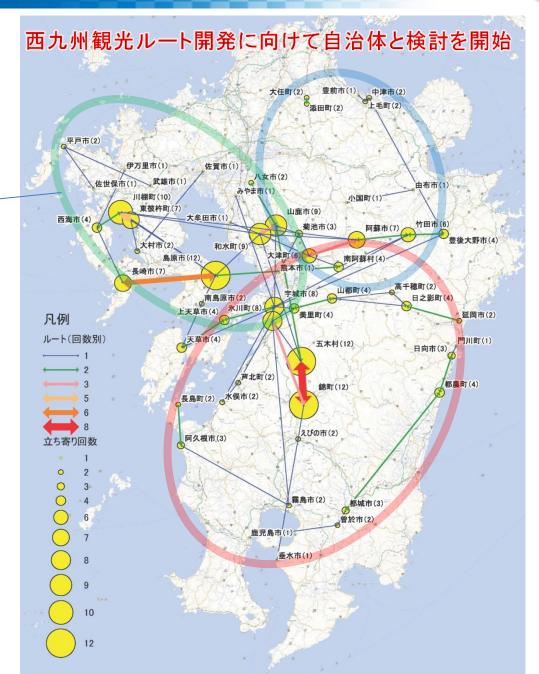


西九州観光ルート開発に向けて自治体と検討を開始。 旅行パッケージ企画造成に向けて旅行会社と検討中。 世界遺産登録長崎県・熊本県の潜伏キリシタン関連遺産



旅行商品化に向けて旅行会社と検討中。







平成30年度予算「地域IoT実装推進事業」に 係る提案の公募(公募期間:平成30年4月2 5日(水)~5月31日(木)17時(必着))

【IoTの活用】

本実証事業にて開発した給電制御装置やスマートフォンのコンテンツを施設の設備(チェーンゲートやトレーラーハウスなど)と連携させることで、無人運用を実現する。また、Wifi対応の高機能自販機など、観光と防災の両面で役立つ設備機器の導入も推進していく。

IoT サービスを活用した滞在観光促進及び防災対応システムイメージ



- ・自治体提供の地域 Wi-Fi との連携 (自治体提供 Wi-Fi 例: KUMAMOTO Free Wi-Fi)
- ・災害文援機能(災害時の飲料無料提供、 防災備蓄品の備蓄、WI-FIでの安否確認)
- 車泊利用方法の多言語表示

